

令和7年度年間活動計画(案)

【大阪ブロック】

福島出張所管内

毛馬出張所管内

枚方出張所管内

高槻出張所管内

目 次

福島出張所管内河川レンジャー

兒玉 曜子	(18期生:1年目)	1
白川 公彦	(19期生:試行)	3

毛馬出張所管内河川レンジャー

伊藤 茂	(12期生:7年目)	5
岸田 俊徳	(15期生:4年目)	8
土屋 直裕	(19期生:試行)	10
波戸 睦	(19期生:試行)	12

枚方出張所管内河川レンジャー

道場 明子	(14期生:5年目)	14
岡村 雅広	(17期生:2年目)	17
天野 康生	(18期生:1年目)	20

高槻出張所管内河川レンジャー

杉本 真一	(14期生:5年目)	24
竹本 克巳	(16期生:3年目)	28
奥山 佳一	(19期生:試行)	31
小林 勝男	(19期生:試行)	33

連携活動	35
------	-------	----

氏名	兒玉曜子	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	福島出張所
----	------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

防災・歴史・環境保全をテーマに掲げ、地域住民に川への関心を高めることができる活動を通じて活動参加者からの意見聴取を行い地域の川の課題を把握する。住民との交流などを通じて、話し合いの場を作り地域住民に防災・川の環境保全・利活用などについて取組んでいくことを目指す。

1.2 活動の目標 目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載 ⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	防災活動を通じて淀川流域の地域で暮らす方々に対して防災・治水に関心を高める。	淀川流域のコミュニティに参加し、防災・治水の啓発活動を行う	⇒	⇒	⇒		
		淀川の歴史、文化や自然環境についての情報発信	⇒	⇒	⇒		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	自治体やその地域住民と連携して活動を行う協力体制を整えていく。	地域住民に対しての防災活動、ハザードマップ作成等を行い水防意識を高める活動を行う		⇒	⇒		
		川や河川敷、流域地域の歴史探訪や環境保全活動を行い、現地に行き水害・防災への理解をすすめていく		⇒	⇒		
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域に残されている自然環境を保全しながらも安全安心に暮らせるような天災から身を守る住民環境作りや情報発信。	地域の歴史探訪や環境保全活動を継続し、地域住民の交流を通じてコミュニティの活動域を広げていく				⇒	⇒
		社会貢献や福祉活動を通じて行政にも情報を発信していけるシステム作りや想定外な事態からの安全な避難活動を行う					⇒

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ・インフルエンザなどのウイルス感染症が猛威を振るい、年間を通して対策が必要である。活動予定が遂行できるか不明確である。 ・昨年2月に足を骨折してしまい、3ヶ月間仕事を休業することになりました。他者様の安全を図ることが難しく主催活動も延期していた。
課題に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナに対しては、2類から5類に移行したとはいえ基本的な感染対策を取ったうえで、室内の換気を十分に行い、マスク着用も可能な範囲で。 ・外歩きが困難であり、避難経路策定の前章として室内で行える防災活動を行いました。防災意識を高めてもらう活動を行い、地域に居住している住民に対して自身の得意分野でもある福祉活動も含めた情報を発信していきたい。

出張所	福島	福島
氏名	兒玉曜子	兒玉曜子
No.	1	2
活動名	矢倉海岸探鳥会	西淀川区マイ・タイムライン
主たる活動分野	A治水・防災	A治水・防災
活動目的 (100字程度)	淀川河口にある矢倉海岸は矢倉緑地公園として整備されており公害の町であった西淀川区は、自然環境も整い現在様々な野鳥が集まっている。野鳥観察を通してコンクリート護岸のない河川への理解を深める。	水害被災現場では高齢者や障がい者だけでなく福祉施設の職員も厳しい状況になります。ハザードマップを読み込み福祉施設のタイムラインを作成し避難計画やマニュアルを作成できることをめざしていく
活動内容 (100字程度)	大阪市で唯一の自然海岸緑地である矢倉緑地公園は市民憩いの場となっているがコンクリート壁で護岸されておらず、津波などの災害にあう危険性がある。現地に行き見ることによって防災に関して意識を高めてもらう。	24時間有人管理である施設でハザードマップを使用し、タイムラインを作成し、避難経路を策定できることを目指す。
運営形態	共催	主催
連携予定	市民団体等	公益社団法人 大阪自然環境保全協会(共催)
	行政機関	社会福祉法人 聖綾福祉会
	学校関係	
活動予定月(日)	令和7年9月4日	〇月
活動場所(市町村)	大阪市西淀川区	大阪市西淀川区
活動場所	阪神なんば線福駅～大野川緑陰道～矢倉緑地公園	大阪市西淀川区姫島
参加対象者	一般者	施設スタッフ
定員	20人	10人
年間スケジュール	4月	
	5月	
	6月	実施計画書作成・提出、協力者内容説明、下見
	7月	準備、資料作成、下見
	8月	下見
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	
スタッフ(人数・役割)	レンジャーとの協力、補助(未定)	未定
広報・募集方法	地域、団体への呼びかけ チラシ等の作成	施設内参加者に呼びかけ参加案内
支援要望事項	レンジャー事務局→チラシ印刷 福島出張所へ情報・資料提供を依頼	
水害体験施設の要望		
安全対策	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えたい実施する。	参加者のコロナ対策、健康確認、マスク着用、消毒
実施に向けて困っている事・課題	参加者募集・協力スタッフの確保	感染症の状況により変更、中止も視野に入れて計画
その他		

氏名	白川 公彦	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	福島出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

淀川では水難事故は毎年発生しています。このような水難事故を未然に防ぐために、プール等での水着での泳ぎと違う、着衣での泳ぎの難しさを身をもって体験させ、万が一事故に出会ったときの落ち着いた対応を学ばせるため、大阪市内の小学校での出前授業を中心とした啓発活動を行います。また、各自治会への訪問安全講習（水辺の安全学習）を通じて、川は危険な場所という認識を持ちながら、少しでも川に親しみを持ち、安全に利用できるようにします。

1.2 活動の目標 目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載 ⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	淀川の特長や安全な利用について、地域住民の理解を深めることをめざす	大阪市内小学校での着衣水泳授業の実施	⇒	⇒			
		各自治会への安全浸水講習（水難事事故例の説明、ライフジャケット着用体験等）	⇒	⇒			
		西淀川区淀川右岸クリーン大作戦（連携活動）	⇒				
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象小学校へのアプローチ方法 教育委員会、小学校との打ち合わせ 東淀川区役所との連携により住民団体との接点を持つ
課題に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 先輩レンジャーへのヒアリング 着衣水泳授業（進行方法、安全確保方法等）のノウハウの蓄積 地域住民団体（東淀川区、淀川区）との意見交流、安全講習へのスケジューリング

出張所	福島	福島	
氏名	白川公彦	白川公彦	
No.	1	2	
活動名	各自治会への安全親水講習	大阪市内小学校での着衣水泳	
主たる活動分野	C河川利用	C河川利用	
活動目的 (100字程度)	地域住民団体との連携により、安全に河川に親しんでもらえるように、啓蒙活動を行う。	ライフジャケットの着用を体験することにより、水難に遭遇しても慌てず、生き延びる体験をしてもらう。	
活動内容 (100字程度)	地域住民団体への水辺の安全利用指導、ライフジャケットの着用体験。	大阪市内小学校水泳授業において、着衣水泳を実践する。	
運営形態	主催	主催	
連携 予定	市民団体等		
	行政機関		
	学校関係		
活動予定月(日)	6~7月	7月	
活動場所(市町村)	大阪市東淀川区	大阪市東淀川区	
活動場所	大阪市内各自治会集会所	大阪市内小学校	
参加対象者	小学校高学年から80歳くらいまでの住民	小学校高学年	
定員	20	40	
年間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	先輩レンジャーへのヒアリング。区役所担当窓口への挨拶訪問。	先輩レンジャーへのヒアリング
	5月	見込み先住民団体の絞り込み	大阪市教育委員会との打ち合わせ
	6月	説明訪問開始	
	7月		7月中旬~下旬
	8月		
	9月	安全講習	振り返り
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		次年度活動に向けての打ち合わせ
スタッフ(人数・役割)	未定	ライフジャケット着用指導、安全確保要員として、児童10人に対してスタッフ1名。	
広報・募集方法	住民団体への直接訪問のため広報は未定	小学校の児童を対象とした活動のため	
支援要望事項			
水害体験施設の要望			
安全対策	ライフジャケットの正しい着用の確認。	ライフジャケットの正しい着用の確認。プールサイドからの水中監視のための必要要員数。	
実施に向けて困っている事・課題			
その他			

氏名	伊藤 茂	区分	特例再任（2期1年目）	所属	毛馬出張所
----	------	----	-------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

地域住民に淀川の四季、自然や美しさ楽しさを再発見させる。
 また防災や危機管理などの意識づけや水辺の安全教育も子どもから保護者へまたは、大人から子どもへ自然体験活動を通じて学んでもらう。
 自然体験活動を通じて地域住民の川に対する関心を深め防災及び環境についても共通認識を向上させる。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試 行 期 間	1期		2期		特例1期		特例2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
Step1 地域住民の関心を高める	遊びや体験を通じて淀川の自然を学ぶ。	地域イベントへの出展、自然体験・観察会および近隣小学校への出前授業等	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	自然体験活動を通じて流域住民の皆様が防災の共通意識を高め地域団体や活動団体などの連携を強化活用し相互協力体制の構築を目指す。	区行政と連携し地域に即した水害防災の為の備えや近隣の河川構造物の役割を知らしめ理解してもらう。			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺や河原の保全・再生や身近な自然を楽しめる川にする為、川とまちが一体となった河川整備を実施できるよう地域住民と行政とのパイプ役になる。	地域住民・地域団体・行政区との協働で環境に適した住民の希望や意見の入った新しい鳥飼地区河川整備改修の取り組みを行う。				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	残り少ないレンジャー活動をもっと効率よく地域住民と関わり、行政とも協働し役に立つ活動を考え行動していきたいと思います。赤川ワンドの生物の激減問題（外来植物繁茂が原因・ワンド水質悪化）や特に鳥飼周辺の河川改修にあたり、自然保全をしながら川を活用して地域住民の憩いの場となるよう、レンジャーの思いを引継ぎ支援していきたい。
課題に対する取り組み	地域団体、行政との協働作業の構築を確実に実行していきたいと思います。淀川の自然環境の保全と発信を踏まえ、変わりゆく河川改修の課程からできるだけ多くの若い世代への地域防災の現状の理解と近未来にかけて改善の必要性を身近にわかりやすく知っていただけるようレンジャー活動を通じて努力していきたいと思います。

出張所	毛馬	毛馬	毛馬	毛馬	
氏名	伊藤 茂	伊藤 茂	伊藤 茂	伊藤 茂	
No.	1	2	3	4	
活動名	淀川大堰魚道見学会	赤川ワンド生き物調査会	淀川の生き物展示	都島区民祭出展	
主たる活動分野	B環境保全	B環境保全	B環境保全	B環境保全	
活動目的 (100字程度)	淀川の環境を守り生き物にも優しい施設を見学し自然環境と防災についても理解してもらう	淀川の自然に触れてもらいワンドの環境やどのような生物がいるのか興味を持ってもらう。	淀川や大川の生き物を見てもらい、淀川の自然を感じてもらう。	身近な大川に結構自然が多くたくさん生き物が生活しているのを都島区民に知ってもらう。	
活動内容 (100字程度)	淀川大堰の魚道観察（アユの遡上）と大堰閘門の役割の説明	ワンドの生き物を捕って観察会および生物調査をする。	淀川や大川にいる生き物を捕獲し区役所前にて1週間展示及び説明会をする。	大川で生き物を捕獲し展示・説明・及びカニ釣りの実践	
運営形態	主催	主催	主催	共催	
連携 予定	市民団体等				
	行政機関				
	学校関係				
活動予定月（日）	4月26日（土）	6月	7月(数日間)	9月27日	
活動場所(市町村)	大阪市都島区	大阪市都島区	大阪市都島区	大阪市都島区	
活動場所	淀川大堰	赤川ワンド	大阪市都島区役所	毛馬桜ノ宮公園	
参加対象者	地域住民 小学生は3年生以上	地域住民 地域団体 他	地域住民	地域住民	
定員	20名	15名	100名	500名	
年間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	打合せ・下見 実施	下見・打合せ・チラシ配布	下見・打合せ・チラシ配布	
	5月		広報案内	行政広報	
	6月		実施	打合せ	
	7月			実施	
	8月				下見・打合せ
	9月				協力団体ミーティング
	10月				実施
	11月				
	12月				
	1月				
	2月				
	3月				
スタッフ（人数・役割）	安全管理として1-2名	安全管理 1-2名	生き物の説明 1名	協力団体：淀川水系自然観察会・ネイチャーおおさか（5-8名） 協カスタッフ 岸田R/牧野R/川嶋RA	
広報・募集方法	チラシ配布 口コミ	チラシ配布 口コミ	行政広報紙	区民祭の出展（毎年数万人の来場あり）	
支援要望事項	毛馬出張所：大堰・閘門・排水機場の説明	毛馬・福島出張所：車の搬入許可	未定	未定	
水害体験施設の要望					
安全対策	大堰橋の真ん中を歩く	ライフジャケット着用	未定	未定	
実施に向けて困っている事・課題	鮎の遡上を見せたいが遡上がタイミングがあるので事前に鮎を捕獲したい。				
その他					

出張所	毛馬	毛馬	毛馬
氏名	伊藤 茂	伊藤 茂	伊藤 茂
No.	5	6	7
活動名	企業清掃プロジェクト支援	淀川小学校(防災キャンプ) 課外授業	OSAKA CITY 淀川左岸クリーン大作戦
主たる活動分野	D維持管理	A治水・防災	D維持管理
活動目的 (100字程度)	企業の奉仕活動で淀川の環境を守り清掃活動をサポートする。	身近な淀川の施設の役割を知ってもらう	淀川の環境を守り協働美化活動によって淀川に興味をもってもらう
活動内容 (100字程度)	淀川河川公園西中島地区の清掃奉仕	淀川大堰・閘門と排水機場の見学と史跡の説明	毛馬閘門～旭区菅原城北大橋まで清掃しながら歩く。
運営形態		共催	主催
連携 予定	市民団体等		
	行政機関		
	学校関係		
活動予定月(日)	10月	10月	2月
活動場所(市町村)	大阪市淀川区	大阪市都島区	大阪市都島区～旭区
活動場所	淀川河川公園西中島地区	毛馬出張所	淀川河川公園赤川地区～城北ワンド
参加対象者	地域企業	近隣淀川小学校生徒	地域住民と諸団体
定員	100名	40名	50名
年間 スケジュール ジュール	4月		
	5月		打合せ
	6月	下見・担当者打合せ	
	7月	企業とのミーティング	学校職員・PTA担当ミーティング
	8月		下見
	9月	下見・最終打合せ	最終打ち合わせ
	10月	実施	実施
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	スタッフ(人数・役割)	スタッフ 2-3名	スタッフ2名 安全係(新人レンジャー 土屋R/波戸R予定)
広報・募集方法	企業広報	募集(4年生予定)	行政広報誌 チラシ配布 SNS
支援要望事項	未定	毛馬出張所: 大堰・閘門・排水機場の説明	毛馬・福島出張所: 車の搬入許可・ゴミの処理
水害体験施設の要望			
安全対策	未定	学校と打合せの上決定します。	安全確認: 危険場所は進入させない。点呼の徹底
実施に向けて困っている事・課題			
その他			

氏名	岸田 俊徳	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	毛馬出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

「近隣住民を含む多くの人々に対し水辺への興味度を上げます。」
 水辺は楽しいことがなんでも出来るイメージがあるが実は危険な箇所が多く、また、見るからにきたない箇所や一部の河川利用常連者（釣り、ラジコン、非動力船）などが幼い子供を持つ親子などに不安を与えることが多いのも今の状況です。誰もが楽しく憩える場所づくりを5年かけて行いたいと思っています。水辺への興味こそが水辺を知る原動力になり、河川で遊ぶだけでなく生態系や防災への興味、緩やかな水辺利用ルールに繋がっていくと考えています。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	水辺をみんなで知る。 ・地域住民や今まで河川に興味がなかった人たちに河川の魅力を伝える	①淀川探検隊(7月) ※生物や植物の採集を通じ現状を把握 7月／淀川右岸塚本地区	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		②ガールスカウトの淀川調査(8月) ※淀川の河川利用と生き物の生態を体験 ※河川管理施設の役割を地域住民に知ってもらう ※緊急船着場や排水機場の役割を学ぶ	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	水辺を誰かに伝える。 ・地域住民などと河川の魅力を共有し、輪を広げる	◆清掃活動 ※淀川の清掃を通じて魅力を共有する 2025年3月／淀川一斉美化アクション		⇒	⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺の使い方を提案実施する。 ・関係者と意見交換会 ・地域住民などと勉強会 ・安全で自由な河川利用を提案	◆淀川ダイキャンプ（9月） ※ヨシのワークショップと意見交換会			⇒	⇒	⇒

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	活動の対象者を小学生または幼児をお持ちの親子としている。生き物観察などの活動は、継続的に行っていることから参加は安定したが、治水利水に関する街歩きなどには興味は薄く、参加人数が乏しい。治水利水には興味は薄いと感じている。今年度がレンジャー活動の最終年になるので、引継ぎができるような団体なども精力的に探したい。
課題に対する取り組み	淀川の生き物の生態には、淀川の成り立ち（歴史）も大きく関わっていることを前半の活動（生き物や植物の採集体験）時に深く解説し興味向上を行う。治水利水施設見学なども活動に取り入れたり、行政冊子などに積極的に掲載を依頼を行い、治水利水を知る活動意義を広く告知も行う。治水施設の見学やそれに付随する碑の見学は、参加者に防災意識を高めることも目的とする。活動内で意見交換の時間をとり、集約した意見は、レンジャーや河川事務所間で共有を行う。5年間の活動から淀川への提言をまとめたい。

出張所	毛馬	毛馬	毛馬	毛馬	
氏名	岸田俊徳	岸田俊徳	岸田俊徳	岸田俊徳	
No.	1	2	3	4	
活動名	淀川名人養成講座2025 淀川探検隊①	ガールスカウトの淀川の生物調査と清掃活動	淀川名人養成講座2025 淀川探検隊②	淀川名人養成講座2025 淀川清掃活動	
主たる活動分野	B環境保全	B環境保全	B環境保全	D維持管理	
活動目的 (100字程度)	淀川環境や治水を学び、身近な河川と感ずること	淀川環境や治水を学び、身近な河川と感ずること	淀川環境や治水を学び、身近な河川と感ずること	淀川環境や治水を学び、身近な河川と感ずること	
活動内容 (100字程度)	淀川の手長工を探索！ 淀川の生きもの調査～身近な道具で川遊び～	淀川の自然に触れてもらい干潟の環境や生物に興味をもってもらいまた河川敷の清掃活動も行う。また船着き場や排水機場の役割を知る。	淀川デイキャンプ！ ～居心地のいい河川敷を作ろう～ 「ヨシで工作」	淀川水系一斉美化アクション 淀川右岸クリーン大作戦In東淀川区	
運営形態	主催	共催	主催	主催	
連携予定	市民団体等				
	行政機関	淀川区		東淀川区	
	学校関係				
活動予定月(日)	7月予定	8月予定	9月予定	2026年3月予定	
活動場所(市町村)	淀川区塚本	大阪市東淀川区	大阪市淀川区	東淀川区菅原	
活動場所	淀川右岸塚本地区 (JR神戸線高架下)	柴島緊急船着場/淀川排水機場	十三野草地区	菅原城北大橋右岸～赤川鉄橋	
参加対象者	地域住民、淀川に興味がある方々 (小学生と保護者対象 ※中学生、幼児も参加可能)	淀川区民 (地域住民)	地域住民、淀川に興味がある方々 (小学生と保護者対象 ※中学生、幼児も参加可能)	地域住民、淀川に興味がある方々	
定員	15名	30名	15名	50名	
年間スケジュール	4月	総合チラシ作成		活動内容作成/総合チラシ作成	総合チラシ作成
	5月	活動内容作成	活動内容作成		
	6月	広報・下見	広報・下見	活動内容作成	
	7月	備品等準備・下見・活動・報告書作成	備品等準備・下見	広報・下見	
	8月		活動・報告書作成	備品等準備・下見	
	9月			活動・報告書作成	
	10月				
	11月				
	12月				活動内容作成
	1月				広報・下見
	2月				備品等準備・下見
	3月				活動・報告書作成
スタッフ(人数・役割)	未定	スタッフ協力 伊藤R 他1名	未定	未定	
広報・募集方法	各所へのチラシ配布、行政広報誌への掲載依頼、SNSでの情報発信など	地域ガールスカウト広報	各所へのチラシ配布、行政広報誌への掲載依頼、SNSでの情報発信など	各所へのチラシ配布、行政広報誌への掲載依頼、SNSでの情報発信など	
支援要望事項	備品の貸出、資料データの提供	事務局：ライフジャケット30個 タモ網30本 水槽3個 救急セット スローロープ テント テーブル 四ツ手網 ゴミぶくろ	備品の貸出、資料データの提供	備品の貸出、資料データの提供	
水害体験施設の要望					
安全対策	活動前に水辺の危険についての講習を行、救命胴衣にて活動を行う。 熱中症対策としてテント設置、それにかかる備品の用意を行う。	ガールスカウトリーダーとの会議にて安全対策・役割を協議します。 満潮・酷暑時を避けて活動を計画する。	活動前に水辺の危険についての講習を行、救命胴衣にて活動を行う。 熱中症対策としてテント設置、それにかかる備品の用意を行う。	清掃中の車や自転車との接触にや河川の危険場所への侵入を留意。	
実施に向けて困っている事・課題					
その他		熱中症アラートが出た場合は、施設での講座のみとする			

氏名	土屋 直裕	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	毛馬出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

河川レンジャー活動は、昨年度は約11,000名もの参加者を集めてきましたが、潜在的なニーズはさらに大きいと考えています。川に関心のない、野外活動への経験がない子供たちにも手軽に参加できる活動を通じて、河川とのかかわりを深めてもらい、自然や環境への関心を育むことを目指します。

毛馬地区の城北ワンドには、イタセンパラなど貴重な生物が生息していますが、ゴミや外来種の侵入により環境が悪化し、在来種が激減しています。この状況を改善するためには、ゴミ清掃や外来植物の駆除を継続的に行う必要があります。地域住民の協力が不可欠です。住民の負担を軽減しながら保全活動を進めるため、広く意見やアイデアを募り、河川整備計画に反映させることを目指します。

1.2 活動の目標 目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載 ⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	地域の子供たちを焦点に、淀川に対する潜在的なニーズを掘り起こし、野外活動への参加を促す。	新淀川ものがたり ～紙人形劇でたどる治水の歴史～	⇒	⇒			
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川改修工事の知識不足、監修の必要性 ・市立図書館との連携 ・屋内活動から野外活動への誘起
課題に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩レンジャーやレンジャーアドバイザーへのヒアリング、淀川資料館を利用した資料収集 ・河川レンジャー主催の野外活動イベントの案内をする ・活動紹介パネル「安全に川を楽しむために気を付けること」のレンタル（設置可能か事前に図書館に確認） ・（図書館と協議の上可能ならば）川遊びにまつわる図書の紹介を図書館側へお願いする。

出張所	毛馬	
氏名	土屋直裕	
No.	1	
活動名	新淀川ものがたり ～紙人形劇でたどる治水の歴史～	
主たる活動分野	E歴史・文化	
活動目的 (1000字程度)	治水工事の歴史やその面白さを子供たちに伝え、治水の重要性や洪水の危険性について啓発するとともに、河川への興味を喚起し野外活動への関心を育む。	
活動内容 (1000字程度)	子供たちを対象に、明治期の淀川改修工事を題材とした紙人形劇を行う。実地後は他レンジャー活動の広報を行う。	
運営形態	主催	
連携 予定	市民団体等	
	行政機関	大阪市立図書館
	学校関係	
活動予定月(日)	10月～11月	
活動場所(市町村)	大阪市都島区 旭区 東淀川区	
活動場所	大阪市立都島図書館 旭図書館 東淀川図書館	
参加対象者	地域住民(自由参加)	
定員	未定(連携予定の図書館に確認)	
年間 スケ ジュ ール	4月	淀川資料館での資料の収集、シナリオの作成
	5月	シナリオの完成
	6月	各図書館との連携の申込(シナリオを提出)
	7月	
	8月	図書館との打合せ開始 具体的な日取りなどの調整 募集用ポスター作成 活動計画書の提出
	9月	ペープサート、幕などの道具作成、練習 ポスターの完成
	10月	開催一回目
	11月	開催二回目 三回目
	12月	活動のフィードバック
	1月	
	2月	
	3月	当活動から他活動への誘導の調査、分析
	スタッフ(人数・役割)	未定
広報・募集方法	大阪市立図書館と提携し、A4一枚程度のポスターを配布。	
支援要望事項	シナリオ作成のため、淀川資料館館内の資料を利用したいです。 シナリオの作成後、適切ではない解説や表現などがないか、添削をお願いします。	
水害体験施設の要望		
安全対策	施設入場者傷害保険など、施設内での事故や怪我を対象とした保険に入られているかどうかの確認	
実施に向けて困っている事・課題	活動終了後、宣伝した他レンジャーの活動や淀川一斉美化アクションなどで 当活動をきっかけに参加した人数を確認する方法について、考える。	
その他		

氏名	波戸 睦	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	毛馬出張所
----	------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

淀川は、自然環境、防災、文化・歴史、経済といった多方面で重要な役割を果たしており、地域住民の生活と密接に関わっています。特に毛馬管内においては都市部という立地ではあるが淀川を中心とした豊かな自然と多様な生態系が存在している。毛馬管内での清掃活動や観察会を通じて河川環境の課題を考え、生物や植物、季節の変化などを体験しその魅力を感じ取ってもらおう。また、こうしたレンジャー活動を通じた関わりの中で地域住民や利用者の安全を守るため、水難事故防止に向けた取り組みを考えます。（水路、ワンドに対する危険意識やルールを考える。）
淀川が育む生態系や人との関わりを感じてもらい淀川に関心を持ってもらい、里山と海をつなぐ淀川の役割についても考察しながら河川環境の保全とともに、地域住民の意識向上や自然との共生を目指した取り組みを行う。

1.2 活動の目標 目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載 ⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	淀川河川公園内（毛馬管内）の水路・入江の清掃活動を通して淀川の環境保全や危険エリアの共有及び生態系について理解を深め、一緒に取り組んでもらえる協力者を見つけることを目指します。	水路、入江でのゴミ収集・外来生物の除去により水路保全（危険エリアの把握）、景観の向上及び生態系の保全を推進。	⇒	⇒			
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	1. 淀川流域の知識不足 ・ 淀川流域の地理、自然環境、生態系（特に外来種）、歴史についての知識不足。 2. 防災意識の向上 ・ 河川に関連する水難、災害に関する理解が不十分。 3. 法令・規則の理解不足 ・ 河川管理や環境保全に関する法律・規則への理解が浅い。 4. 観察力の向上 ・ 定期的に現地を訪れ、季節ごとの変化や動植物の状態を観察する習慣が不足
課題に対する取り組み	対策 基本的には先輩レンジャーの指導を仰ぎながら活動する。 知識に関して ・ 地元のガイドブックや自治体の資料を読んだり、資料館での自己学習。 ・ 淀川に関する講座やイベントに参加して知識を得る。

出張所	毛馬
氏名	波戸 睦
No.	1
活動名	淀川河川公園内（赤川地区・毛馬地区）水路・入江のクリーンアップと生き物観察
主たる活動分野	B環境保全
活動目的 （100字程度）	公園内水路のゴミ収集・生態系保護、保全。及び危険エリアの把握する。また、水路がきれいになることで景観の向上をはかり淀川の魅力を発信することにもつなげる。
活動内容 （100字程度）	水路、入江内に溜まったゴミを回収する。活動エリアでの生物の観察（必要に応じた外来種の駆除）。
運営形態	主催
連携 予 定	市民団体等
	行政機関
	学校関係
活動予定月（日）	10月（候補日雨天の場合は延期）
活動場所(市町村)	大阪市都島区
活動場所	淀川河川公園内（赤川地区・毛馬地区）水路・入江
参加対象者	中学生以上
定員	10名
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月
	10月
	11月
	12月
	1月
	2月
	3月
スタッフ（人数・役割）	未定
広報・募集方法	レンジャーホームページ利用、チラシ配布
支援要望事項	未定
水害体験施設の要望	
安全対策	基本的には川岸での活動を想定しているがライフジャケット着用及びスタッフによる水際の監視。熱中症対策（凍らせたペットボトル、OS1、ヒヤロン⇒補給指示）、外傷対策としてファーストエイドキット持参
実施に向けて困っている事・課題	河川利用の許可申請の提出方法、資機材利用の手順、スタッフへの参加依頼方法等、実際のレンジャー活動が未経験のため不明な不安な点が多い
その他	

氏名	道場 明子	区分	特例再任（1期1年目）	所属	枚方出張所
----	-------	----	-------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

<p>①守口市を中心に、地域住民に淀川の魅力を発見し、ファンになってもらうきっかけづくりになるような、気軽に参加できる活動を行い、淀川への関心を高めるとともに、地域住民より「淀川の課題」の情報収集を行う。また、地域の要望に応じて講座を行う。</p> <p>②守口市のコミュニティセンターや、自治会と連携し地域に密着した水防災講座や、シニア向けや小さいお子様がいる家族向け等、より身近な防災講座を行い、地区防災計画の推進につながる活動を行う。</p> <p>③自転車利用者のマナー向上活動や、美化アクションを行い、あらゆる利用者が気持ちよく淀川を利用できる啓発活動を行う。</p>

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期		特例1期	
				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
Step1 地域住民の関心を高める	地域住民が、淀川に関心をもつ活動を行う。	①自転車の意見聴取 ②防災講座 ③バッタのオリンピック ④地域の要望に応じた講座、ブース展示（淀川やレンジャー活動紹介、工作等）	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域の自治体、住民団体と協力・連携した活動を行う。	①「自転車マナー向上」公園利用者や自転車利用者からアンケートや意見聴取を行いヒヤリハットマップを作成する。 ②美化アクション		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域の自治体・住民団体などが自主的に活動を行えるよう、これまで自身が取り組んできた活動を定着させる。	自転車のマナー向上：ヒヤリハットマップの更新や、歩行者と自転車利用者の意見交換、利用ルールに関する提案、住民によるマナーアップ活動等				⇒	⇒	⇒	

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	step1の活動が中心となっているので、step2、step3と段階を繋げていきたい。安全・快適に自転車走行できる淀川は、サイクリングロードと認識している人も多く、高速走行等、他の利用者・近隣住民者に迷惑・危険行為との声を聞く事がある。「自転車マナー向上」に向け意見聴取を行った人数が少ないためR7年度は定期的の実施し、ヒヤリハットマップ作成し、自転車歩行者双方の意見共有を行いたい。また、状況に応じて実施場所や、聴取内容、聴取方法も検討していきたい。
課題に対する取り組み	自転車のマナー向上を目指し、今期は定期的に意見聴取を行う。また、集めた声を元に、ヒヤリハットマップを作成し、河川レンジャーHPの活動報告で公開し利用者に共有していきたいが、公開にあたり調整・許可が各部署に必要になると思われる為、河川管理者と共有し、改善につなげていきたい。

出張所	枚方	枚方	枚方	枚方
氏名	道場 明子	道場 明子	道場 明子	道場 明子
No.	1	2	3	4
活動名	自転車と歩行者に関する意見聴取	守口市こどもまつり	守口市立としよかんまつり	バッタのオリンピック
主たる活動分野	C河川利用	B環境保全	A治水・防災	B環境保全
活動目的 (100字程度)	自転車マナー向上	ヨシ笛づくりを通して、淀川環境やヨシに関心をもってもらう。また、実行委員会のメンバーである守口市内の各校区との連携イベントにつなげる。	水の防災啓発（自分の生活圏の水害リスクをしり、家族で対策を考えマイ・タイムラインを作成する）	河川公園を利用し、河川敷に生息するバッタを通して、現状の環境や自然を体験してもらい、環境保全の大切さを考えてもらう。
活動内容 (100字程度)	自転車の利用者、通行人に、ヒヤリハットした場所と事柄を聴取して、マップなどにまとめ共有する。	こどもまつりの実行委員会のメンバーとして出展し、ヨシの効用と笛作りの指導を行う。	守口市立図書館の夏休み子ども向けイベント「としよかんまつり」にて、親子対象にマイ・タイムライン作成講義を行う(内容変更の可能性あり)	河川敷でバッタを採集し、各自講師指導のもと同定を行い、バッタを種類性別毎にスタート台から飛ばす。飛距離と飛翔時間を計測。優秀者には、金、銀、銅メダルの表彰
運営形態	主催	協力	協力	主催
連携予定	市民団体等	守口市こどもまつり実行委員会		
	行政機関	守口市（コミュニティ推進課）	守口市立図書館	
	学校関係			
活動予定月（日）	5月から毎月・実施日未定	5月18日	8月	10月
活動場所(市町村)	大阪市旭区	守口市	守口市	守口市
活動場所	淀川河川公園（太子橋地区）又は、豊里大橋下	大枝公園	守口市立図書館	河川公園（八雲地区）
参加対象者	通行人、河川公園利用者	守口市小中学生及び保護者他、近隣住民	近隣住民	小学生以下（保護者同伴）
定員	特になし	300名	未定	30名
年間スケジュール	4月	第4回実行委員会/準備（ヨシ笛・展示・広告物）		
	5月	実施		
	6月	第5回実行委員会		
	7月			
	8月			下見・使用申請書提出
	9月			広報・スタッフ決定・備品手配
	10月			実施
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
スタッフ（人数・役割）	スタッフ2名（通行人数調査・荷物番・聴取内容掲示等）	スタッフ5名（ヨシ笛づくり3名・受付と誘導2名）	スタッフ1名（タイムライン補助等）	スタッフ6名以上（受付・安全管理補助・計測・集計など）
広報・募集方法		守口市広報誌・チラシ・HP	守口市広報・HP・チラシ	チラシ・HP
支援要望事項	物品貸与と印刷	物品貸与と印刷	物品貸与・印刷	物品貸与・印刷
水害体験施設の要望				
安全対策	通行人、河川公園利用者の妨げにならない場所で行う	安全管理（カッターナイフを使用する工程は河川レンジャーが担当。ハサミの使用工程については参加者が実施。）熱中症対策。	熱中症対策	前年と同じ場所で実施予定。毎年蜂がいるので、参加者にも募集時より注意喚起を行う。
実施に向けて困っている事・課題	ヒヤリハットマップ作成・結果の	ヨシ笛の準備を含め、スタッフ確保	スタッフ確保	スタッフ確保
その他				

出張所	枚方	枚方
氏名	道場 明子	道場 明子
No.	5	6
活動名	寝屋川市立図書館 水の防災講座	淀川水系一斉美化アクション
主たる活動分野	A治水・防災	D維持管理
活動目的 (100字程度)	水の防災・減災啓発	河川美化・マナー向上・水辺環境保全。
活動内容 (100字程度)	逃げ遅れゼロを目指し、参加者が今自分にできる事をハザードマップ等をもとに考える座学とワークショップ。(内容変更の可能性有)	地域住民・行政機関等と清掃活動を行う。
運営形態	共催	主催
連携 予定	市民団体等	
	行政機関	寝屋川市立図書館
	学校関係	
活動予定月(日)	1月	3月
活動場所(市町村)	寝屋川市	守口市
活動場所	寝屋川市立図書館	河川公園(外島地区)
参加対象者	近隣住民・図書館利用者	近隣住民
定員	未定	未定
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	打合せ
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	広報
	12月	下見・講座準備
	1月	実施
	2月	
	3月	
スタッフ(人数・役割)	スタッフ1名(タイムライン補助)	スタッフ1名(ごみ収集場所で分別等)
広報・募集方法	寝屋川市広報・チラシ・HP	チラシ・HP
支援要望事項	物品貸与・印刷	物品貸与・印刷
水害体験施設の要望		
安全対策	感染症対策	感染症対策
実施に向けて困っている事・課題	スタッフ確保	スタッフ確保
その他		

氏名	岡村 雅広	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	枚方出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

淀川は関西地方ひいては日本の歴史に深く関り、地域住民はもちろん全国から関心を集める母なる川です。今年開催される大阪・関西万博に応じ新たな舟運利用も計画されています。また枚方市、交野市にまたがる交野が原は再開発計画が実行に移され新たな人々が暮らすエリアと注目されています。様々な歴史を重ねてきた淀川に地域のみなさんがさらに関わってもらいたく親水活動を企画します。なごめるエリアづくり、生物多様性対応を実感できるイベント、もちろん川の恐ろしさも伝えることで自然を畏れる大切さを伝えられればと思います。
枚方エリアには枚方公園、淀川資料館という人々が馴染みやすい施設がありこれまで以上に有効利用し、高齢化、少子化が問題となるなかそこにスポットをあてた川づくり、人づくりを目指します。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	「なごめる水辺づくり」を継続しながら参加者のみなさんとともに目指す姿に近づけていく。 地域住民の淀川への関心を高める	多自然池エリア環境保全活動＞水辺のごみ回収と草木整備。	⇒	⇒	⇒		
		歴史や防災をテーマとした出前講座や防災訓練への協力（地域の要望に応じて開催） 淀川資料館企画展と連携した「淀川をもっと知ろう」講座		⇒	⇒		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	淀川河川公園枚方 多自然池エリアにおいて、住民が主体となり環境保全に組むことを目指す	観察会を通じて現状を知り、対策を練ったうえで外来種駆除活動を開始する。		⇒	⇒		
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	市役所の窓口である観光交流課とともに組織づくりを目指す。	枚方市「かわまちづくり」について住民とともに淀川を活かせる活動に取り組む。			⇒		

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	1) 月例活動「なごめる水辺づくり」を通じて多自然池エリアの目指す姿を具現化していく。 2) 外来生物の駆除活動を行い、河川環境を保全していくことが必要。 3) 小学生を対象とした「生き物調査」における知見とノウハウ、スキルの向上に取り組む。
課題に対する取り組み	1) 「なごめる水辺づくり」の意見を聴きながら河川事務所、枚方市と協議していく。 2) 他のレンジャーの活動に参加し、ノウハウを体得する。 3) 他のレンジャーやイベントに参加して学び、活動を主催できるようにする（自らのスキルとする）。

出張所	枚方	枚方	枚方	枚方
氏名	岡村雅広	岡村雅広	岡村雅広	岡村雅広
No.	1	2	3	4
活動名	なごめる水辺づくり	大阪区民カレッジ 城東校 枚方の街 淀川を知る 防災学習	夏休み企画 淀川をもっと知ろう	大阪府民カレッジ 枚方校 枚方の街 淀川を知る 防災学習
主たる活動分野	D維持管理	E歴史・文化	F川づくり・人づくり	E歴史・文化
活動目的 (100字程度)	河川公園 枚方 多自然池エリアをなごめる水辺にして流域住民の憩いの場を目指す	枚方の歴史と文化、淀川について知見を広めていただくとともに水害災害についての心構えを認識いただく。	小学校4年生を対象に淀川資料館にて淀川についての知識を深めて川への関心を高めていただく	枚方の歴史と文化、淀川について知見を広めていただくとともに水害災害についての心構えを認識いただく。
活動内容 (100字程度)	流れ着いたゴミの回収、樹木の剪定、植生の管理	枚方宿を街歩きし、淀川資料館で淀川を知っていただく。午後は中央流域センターで防災学習を実施する。	資料館に設置されている設備をもとに淀川の特徴を説明し、治水、利水、自然について保護者とともに学んでいただく。	枚方宿を街歩きし、淀川資料館で淀川を知っていただく。午後は中央流域センターで防災学習を実施する。
運営形態	主催	主催	主催	主催
連携 予定	市民団体等	パナソニック サントリー他		
	行政機関	枚方市環境政策課 観光交流課 河川事務所枚方出張所	淀川河川事務所 河川環境課	淀川河川事務所 河川環境課
	学校関係			
活動予定月(日)	4/27 5/28 6/25 8/27 9/24 10月11月 12/24 2/25 3/25	5月26日	7月27日	10月1日
活動場所(市町村)	枚方市	枚方市	枚方市	枚方市
活動場所	淀川河川公園 枚方 多自然池エリア	枚方宿、淀川資料館、中央流域センター	淀川資料館	枚方宿、淀川資料館、中央流域センター
参加対象者	限定せず ただし 小学生以上 (小学生は保護者同伴)	区民カレッジ受講生	枚方市内小学校 4年生と保護者	府民カレッジ受講生
定員	設定しません	約35名	15組 30名	約30名
年間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	4月27日		
	5月	5月28日	5月26日	
	6月	6月25日		
	7月			7月27日
	8月	8月27日		
	9月	9月24日		
	10月	日程未定		
	11月	日程未定	日程未定	
	12月	12月24日		
	1月			
	2月	2月25日		
	3月	3月25日		
スタッフ(人数・役割)	4名 安全巡視 ゴミ分別指導	中野レンジャー : 町歩き誘導補助	スタッフ 2名 受付 資料配付 グループ討議	中野レンジャー : 町歩き誘導補助
広報・募集方法	広報誌(枚方市)		広報誌(枚方市) イベントチラシ他 枚方市教育委員会及び各小学校への広報活動	
支援要望事項				
水害体験施設の要望				
安全対策				
実施に向けて困っている事・課題	外来生物駆除や多自然池の環境整備(流水対策・ヘドロの浚渫)			
その他				

出張所	枚方	枚方
氏名	岡村雅広	岡村雅広
No.	5	6
活動名	枚方市総合防災訓練 ひこ防`z	淀川水系一斉美化アクション 京街道 枚方
主たる活動分野	A治水・防災	D維持管理
活動目的 (100字程度)	枚方市主催の総合防災訓練において市民のみなさんに浸水地歩行体験を通じて水害避難のリスクを考えていただく	多くのみなさんに参加を呼びかけ、淀川・天野川を知ってもらい川ゴミの実態からポイ捨て撲滅を目指します。
活動内容 (100字程度)	会場内ブースの一つに浸水地歩行キットを設置し体験いただくとともにパネル展示にて水害リスクを理解いただく	参加者の年齢・体力を鑑みてほのぼのコースとガッツリコースの二つのコースを設定して多くの方々に対応する。
運営形態	協力	主催
連携 予定	市民団体等	
	行政機関	枚方市危機管理推進課
	学校関係	
活動予定月(日)	11月	2026/2/1
活動場所(市町村)	枚方市	枚方市
活動場所	枚方市役所前広場	淀川河川公園 枚方
参加対象者	来場者	限定せず ただし 小学生以上(小学生は保護者同伴)
定員	設定していません	設定しません
年間 スケジュール ジュール	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	2月1日
	3月	
スタッフ(人数・役割)		山口 進 レンジャーアドバイザー:誘導及び安全確保 天野レンジャー:誘導及び安全確保
広報・募集方法		広報誌(枚方市)
支援要望事項		
水害体験施設の要望		
安全対策		
実施に向けて困っている事・課題		
その他		

氏名	天野 康生	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	枚方出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

庭窪ワンド周辺では、漂着ゴミやごみのポイ捨てが見られ、景観・水辺利用の面などから課題と考える。このため、庭窪ワンド周辺への人の誘導が大切と考え、環境保全を活動のベースにしながら、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。
一方で、水辺の安全を確保することも重要であり、安全利用の啓発にも注意を払う。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	庭窪ワンドの認知度向上と課題の吸い上げ。	庭窪ワンドを知る活動として、地域向けのイベント(散策、生き物、外来種の勉強会など)を行う。	⇒	⇒	⇒		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	庭窪ワンドエリアにおいて、地域住民が気軽に訪れたいくなるような“ビーチ化”を目指す。	人の往来が安全に行えるよう草刈りと樹木の剪定、および漂着ゴミの清掃活動を行う。		⇒	⇒		
		庭窪ワンドビーチ保全および啓発イベント				⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域住民の庭窪ワンドへのニーズを把握・整理し、行政に改善要望として伝え実現を目指す。	活動参加者、地域住民との意見交換会を設定する		⇒	⇒	⇒	⇒
		守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課への庭窪ワンドでの活動案内や結果、住民の声などのインプットを継続		⇒	⇒	⇒	⇒

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採可能なエリア、植物の種類（ヨシは残すなど）、時期の決定 ・伐採後の処置 ・整備エリアへの漂着ゴミ防止(川へのネットの設置など) ・どのようなイベントが実施可能か。 ・行政、地域住民の巻き込み
課題に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所、河川レンジャー諸先輩との相談、調整。 ・守口市、門真市への働きかけ継続

出張所	枚方	枚方	枚方	枚方
氏名	天野 康生	天野 康生	天野 康生	天野 康生
No.	1	2	3	4
活動名	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド保全活動
主たる活動分野	B環境保全	B環境保全	B環境保全	B環境保全
活動目的 (1000字程度)	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。
活動内容 (1000字程度)	庭窪ワンド周辺の清掃、外来種植物などの駆除 作業エリアの草刈、樹木剪定 (活動後に処分できる規模)	庭窪ワンド周辺の清掃、外来種植物などの駆除 作業エリアの草刈、樹木剪定 (活動後に処分できる規模)	庭窪ワンド周辺の清掃、外来種植物などの駆除 作業エリアの草刈、樹木剪定 (活動後に処分できる規模)	庭窪ワンド周辺の清掃、外来種植物などの駆除 作業エリアの草刈、樹木剪定 (活動後に処分できる規模)
運営形態	共催	共催	共催	共催
連携 予 定	市民団体等	淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク	淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク	淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク
	行政機関			
	学校関係			
活動予定月 (日)	4月13日	5月25日	6月8日	7月13日
活動場所(市町村)	守口市	守口市	守口市	守口市
活動場所	庭窪ワンド	庭窪ワンド	庭窪ワンド	庭窪ワンド
参加対象者	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学
定員	未定	未定	未定	未定
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	実施	出張所、事務所との調整	実施計画書作成
	5月		実施	出張所、事務所との調整
	6月			出張所、事務所との調整
	7月			実施
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
2月	2025年2月：実施計画書作成			
3月	2025年3月：出張所、事務局との調整	2025年3月：実施計画書作成		
スタッフ (人数・役割)	未定	未定	未定	未定
広報・募集方法	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内
支援要望事項	清掃用具 (トング、ゴミ袋) 貸出、ごみの回収	清掃用具 (トング、ゴミ袋) 貸出、ごみの回収	清掃用具 (トング、ゴミ袋) 貸出、ごみの回収	清掃用具 (トング、ゴミ袋) 貸出、ごみの回収
水害体験施設の要望				
安全対策	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。
実施に向けて困っている事・課題				
その他				

出張所	枚方	枚方	枚方	枚方
氏名	天野 康生	天野 康生	天野 康生	天野 康生
No.	5	6	7	8
活動名	庭窪ワンド意見交換会	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド保全活動
主たる活動分野	B環境保全	B環境保全	B環境保全	B環境保全
活動目的 (100字程度)	現場活動を行う実践者から、体験に基づく課題や庭窪ワンドをこういう場所にしていきたいという声を聞き、活動のブラッシュアップを図る。	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。
活動内容 (100字程度)	庭窪ワンド保全活動に参加いただいている団体代表者との意見交換会	庭窪ワンド周辺の清掃、外来種植物などの駆除 作業エリアの草刈、樹木剪定(活動後に処分できる規模)	庭窪ワンド周辺の清掃、外来種植物などの駆除 作業エリアの草刈、樹木剪定(活動後に処分できる規模)	庭窪ワンド周辺の清掃、外来種植物などの駆除 作業エリアの草刈、樹木剪定(活動後に処分できる規模)
運営形態	共催	共催	共催	共催
連携 予定	市民団体等	淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク	淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク	淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク
	行政機関			
	学校関係			
活動予定月(日)	8月10日	9月14日	10月12日	11月9日
活動場所(市町村)	守口市	守口市	守口市	守口市
活動場所	庭窪レストセンター	庭窪ワンド	庭窪ワンド	庭窪ワンド
参加対象者	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学
定員	未定	未定	未定	未定
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月			
	5月			
	6月	実施計画書作成		
	7月	出張所、事務所との調整	実施計画書作成	
	8月	実施	出張所、事務所との調整	実施計画書作成
	9月		実施	出張所、事務所との調整
	10月			実施
	11月			出張所、事務所との調整
	12月			実施
	1月			
2月				
3月				
スタッフ(人数・役割)	未定	未定	未定	未定
広報・募集方法	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内
支援要望事項	庭窪エリアの過去の景観データや開発計画等	清掃用具(トンゴ、ゴミ袋)貸出、ごみの回収	清掃用具(トンゴ、ゴミ袋)貸出、ごみの回収	清掃用具(トンゴ、ゴミ袋)貸出、ごみの回収
水害体験施設の要望				
安全対策	庭窪レストセンターの空調等、設備の点検	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。
実施に向けて困っている事・課題				
その他				

出張所	枚方	
氏名	天野 康生	
No.	9	
活動名	淀川水系一斉美化アクション	
主たる活動分野	B環境保全	
活動目的 (100字程度)	・漂着ゴミ、ポイ捨てゴミがなくなる ・川事故がなくなる という課題に対し、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。	
活動内容 (100字程度)	庭窪ワンド周辺の清掃	
運営形態	主催	
連携 予 定	市民団体等	
	行政機関	
	学校関係	
活動予定月(日)	2月8日	
活動場所(市町村)	守口市	
活動場所	庭窪ワンド	
参加対象者	門真エコネットワーク連絡会、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、同志社大学、かどま大学	
定員	未定	
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	実施計画書作成
	11月	出張所、事務所との調整
	12月	
	1月	
	2月	実施
	3月	
スタッフ(人数・役割)	未定	
広報・募集方法	これまで参加いただいている団体代表、個人および、守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課へのメール案内	
支援要望事項	清掃用具(トンゴ、ゴミ袋)貸出、ごみの回収	
水害体験施設の要望		
安全対策	事前視察および当日の活動場所点検。 活動開始前に集合し、安全点検、準備運動を行う。	
実施に向けて困っている事・課題		
その他		

氏名	杉本 真一	区分	特例再任（1期1年目）	所属	高槻出張所
----	-------	----	-------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

<p>【現状】～遊び方を知らない子どもたち～ 子どもの生活スタイルが多様化し、遊び方の変化や放課後の塾や習い事で多忙であること等から、川で遊んだことのある子どもが少なくなっている。また、学校では「川は危ない、近づくな」と指導され、安全教育の必要性がある。 一方、風水害をはじめとする自然災害は増加傾向にあり、住民の防災意識は高まっていると共に、学校現場における「防災教育」へのニーズが求められている。</p> <p>【目的】自然とふれあう機会が少ない子どもたちに、学校では経験のできない自然体験学習や防災学習を実施する。特に高槻市を南北に流れる芥川と淀川とのつながりを意識しながら、子どもの健全育成と河川への興味関心を深めていく。また、多くの世代へ淀川や芥川の魅力や現状を学び教え合う場を創出し、地域の防災や自然環境、歴史、文化などへの理解を深め、持続可能な「川づくりの担い手」を広げていくことを目指す。</p>
--

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期		特例1期	
				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
Step1 地域住民の関心を高める	【つながり】地域住民とのかかわり	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の実施 ・川と自然のかかわりを理解する体験プログラム ・参加者の募集や関係機関との調整 ②「川の学習会～川スタ（ｽﾀｰﾄﾞｲ）～」の実施 ・河川に関するテーマ（防災、環境、歴史観光等）を学ぶプログラム ※小学校などでの防災出前授業や地域の防災講座	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step 2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	【ひろがり】河川レンジャーが河川管理者や地域団体と協働	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・他機関との協力体制を構築する ・参加者、サポートスタッフの育成		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		②「川の学習会～川スタ～」の展開 ・地域団体等とプログラムの実施（防災学習など） ※防災学習：持続可能な活動に向け教育委員会等との連携		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step 3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	【ゆるやかな連携】地域団体が主体となる活動に向けた支援	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・参加者が教え学び合う場づくりの支援 ②「川の学習会～川スタ～」の展開 ・地域団体の避難訓練等への支援 ・小学校等での出前授業や、子どもたちが活動を発表する場の創出 ③流域治水・川づくりプロジェクトの実施【連携】 鳥飼ワンド外来水草除去活動や地域と協働した活動の支援			⇒	⇒	⇒	⇒	

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	<p>【流域治水・川づくりプロジェクト】 ・地域団体と連携した活動の継続 ・毛馬出張所管内（摂津市エリア）レンジャーとの協働、連携活動の推進 【たかつきジュニア河川レンジャー活動】 ・子どもたちが継続して参加するしくみ作り</p>
課題に対する取り組み	<p>【たかつきジュニア河川レンジャー、川の学習会】 ・レンジャーHPや関係機関への広報活動を進める ・高槻市、高槻市市民公益活動サポートセンターとの連携 ・高槻市教育委員会との連携 【流域治水・川づくりプロジェクト】 ・摂津市の市民団体などとの連携関係を構築する（わいわいガヤガヤ祭実行委員会へ参画依頼中）。 ・摂津市政策推進課や環境政策課と連携し、鳥飼水辺エリアのまちづくりをサポートしていきたい。</p>

出張所	高槻	高槻	高槻	高槻
氏名	杉本真一	杉本真一	杉本真一	杉本真一
No.	1	2	3	4
活動名	高槻ジュニア河川レンジャー	高槻ジュニア河川レンジャー	川の学習会～川スタ～	川の学習会～川スタ～
主たる活動分野	F川づくり・人づくり	F川づくり・人づくり	B環境保全	B環境保全
活動目的 (100字程度)	高槻市内を流れる淀川や芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」等のプログラムの充実を図る	高槻市内を流れる淀川や芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」等のプログラムの充実を図る	自然とのふれあいや地域の地形を理解し、川に生息する昆虫や魚類を調べることにより、環境に優しい行動や自然を大切にすることを啓発し、子どもの健やかな育成を目指す。正しい河川利用や防災への注意喚起も図る。	自然とのふれあいや環境への興味・関心を持つきっかけの場として、環境に優しい行動を啓発、自然を大切に子どもたちの健やかな育成を図ることを目指す。
活動内容 (100字程度)	川の安全ウォーク(芥川) 川の特徴を知り安全な河川利用について学ぶ	川の安全ウォーク(芥川) 川の特徴を知り安全な河川利用について学ぶ	茨木川(上野橋付近)の水生生物を調査。教育関係者(教諭)による解説。安全な河川利用(ライフジャケット)や防災についての情報提供	【水辺の生き物観察会】地域を流れる淀川と芥川を考え、防災・自然環境などをテーマとした学習会の実施。安全な河川利用(ライフジャケット)や防災についての情報提供
運営形態	主催	主催	共催	共催
連携予定	市民団体等			あくあびあ芥川
	行政機関		茨木市教育委員会(福井公民館)	摂津市(環境政策課)
	学校関係		福井小学校PTA	
活動予定月(日)	4月	5月	7月	8月
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市	茨木市	高槻市
活動場所	芥川流域(JR高槻駅～桜堤公園～芥川緑地公園～摂津峡公園)	芥川流域(塚脇バス停～摂津峡公園～摂津峡～上の口バス停)	茨木川右岸(上野町付近)	高槻市立自然博物館(あくあびあ芥川)
参加対象者	地域の小学校3～6年生、地域の中学校の自然科学クラブなど(保護者参加も可能)	地域の小学校3～6年生、地域の中学校の自然科学クラブなど(保護者参加も可能)	福井小学校児童	摂津市小学校の児童及び保護者
定員	15名	15名	20名	親子15組(40名)
年間スケジュール	4月	川の安全ウォーク(芥川北部)		
	5月		川の安全ウォーク(摂津峡)	
	6月			打合せ、現地見
	7月			参加者募集、活動実施
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
スタッフ(人数・役割)	協力スタッフ 3名程度(参加者の安全確認、活動のサポート)	協力スタッフ 3名程度(参加者の安全確認、活動のサポート)	講師 元小学校校長、福井小学校PTA、公民館地域スタッフ	講師(各回テーマに沿った学識経験者など) 協力スタッフ 5名程度(参加者の安全確認、活動のサポート)
広報・募集方法	レンジャーHPや広報、地域行事などでの告知	レンジャーHPや広報、地域行事などでの告知	福井小学校での参加者募集	摂津市広報などでの告知
支援要望事項	スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入など	スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入など	スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入、観察会資材、ライフジャケット借用など	講師謝金、スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入、観察会資材、ライフジャケット借用など
水害体験施設の要望				
安全対策	歩行移動時における安全啓発(川へは入らない)	歩行移動時における安全啓発(川へは入らない)	移動時における安全指導、採取時活動エリアの上流及び下流にスタッフを配置	移動時における安全指導、活動エリアの上流及び下流にスタッフを配置(定点活動時)
実施に向けて困っている事・課題				
その他				実施にあたっては6か月前に摂津市へ相談し、実施に向け協力を依頼する。講師は河合典彦氏(環境省希少野生動物種保存推進員)を予定

出張所	高槻	高槻	高槻	高槻	
氏名	杉本真一	杉本真一	杉本真一	杉本真一	
No.	5	6	7	8	
活動名	高槻ジュニア河川レンジャー	川の学習会～川スタ～	高槻ジュニア河川レンジャー	環境講座 鶴殿のヨシから学ぶ シリーズ	
主たる活動分野	F川づくり・人づくり	B環境保全	F川づくり・人づくり	B環境保全	
活動目的 (100字程度)	高槻市内を流れる淀川や芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」等のプログラムの充実を図る	地域を流れる淀川と芥川を考え、防災・自然環境・歴史などをテーマとした学習会等を実施する。小中学校等での環境教育（出前授業）に取り組み、環境意識の向上と「水と私たちはつながっている」ことを伝えていく。	高槻市内を流れる淀川や芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」等のプログラムの充実を図る	高槻市鶴殿（淀川右岸）に残る「鶴殿のヨシ原」の水辺環境を学び、ヨシ笛づくり体験等を通じ、淀川の魅力にふれ合う。	
活動内容 (100字程度)	川の安全ウォーク（芥川・摂津峡）活動や防災学習を多くの方に公開する	環境教室（出前授業）で河川と私たちの生活を知り、環境についての知識の向上を図る。	川の安全ウォーク（芥川）川の特質を知り安全な河川利用について学ぶ	鶴殿のヨシ原の環境学習及びヨシ笛づくり（出前講座形式）	
運営形態	主催	主催	主催	共催	
連携 予 定	市民団体等	高槻市市民公益活動サポートセンターなど		高槻市立公民館、教育機関（認定こども園、小学校など）	
	行政機関	高槻市	高槻市教育委員会		
	学校関係		高槻市立小中学校		
活動予定月（日）	9月	10月	12月	1月	
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市	高槻市	事前打合せ、参加者募集、活動実施	
活動場所	高槻市総合センター 1F展示ホール	高槻市立小中学校及びその周辺	芥川流域（二十バス停～津之江公園付近～城西橋～JR鉄橋）		
参加対象者		高槻市立小中学校の児童及び生徒	地域の小学校3～6年生、地域の中学校高校の自然科学クラブなど（保護者の参加も可能）		
定員	20名	対象学年全クラス	15名		
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月				
	5月				
	6月				
	7月				
	8月				
	9月	洪水から身を守るためにできること 市民向け公開講座			
	10月		小学校での環境教室		
	11月				
	12月			川の安全ウォーク（芥川南部）	
	1月				鶴殿のヨシ原見学会（子ども園）
2月					
3月					
スタッフ（人数・役割）	協力スタッフ 2名程度（参加者の安全確認、活動のサポート）	協力スタッフ 若干名（参加者の安全確認、活動のサポート）	協力スタッフ 若干名（参加者の安全確認、活動のサポート）		
広報・募集方法	レンジャーHPや広報、地域行事などでの告知	高槻市立小中学校との打合せによる	レンジャーHPや広報、地域行事などでの告知	関係機関との打ち合わせによる	
支援要望事項	スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷、保険加入など	環境教室資材、資料印刷など	スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷、保険加入など	ヨシ笛工作資材、環境教室資材、資料印刷、緊急用道路の進入許可証申請（ゲート鍵借用）など	
水害体験施設の要望					
安全対策	移動時における安全指導	歩行移動時における安全啓発	歩行移動時における安全啓発（川へは入らない）	歩行移動時における安全啓発（ヨシ原へは入らない）	
実施に向けて困っている事・課題					
その他					

出張所	高槻	高槻
氏名	杉本真一	杉本真一
No.	9	10
活動名	川の学習会～川スタ～	高槻ジュニア河川レンジャー（淀川水系一斉美化アクション）
主たる活動分野	A治水・防災	C河川利用
活動目的 （100字程度）	地域を流れる淀川と芥川を考え、防災・自然環境・歴史などをテーマとした学習会等を実施する。特に、小中学校等での防災教育（出前授業）に取組み、防災意識の向上と「自分の命は自分で守る」ということを伝えていく。また、持続可能な防災教育の体系作りに向けた検討を行う。	高槻市内を流れる淀川や芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」等のプログラムの充実を図る
活動内容 （100字程度）	防災教室（出前授業）河川を知り、防災についての知識の向上を図る。	淀川芥川クリーンアップ大作戦
運営形態	主催	主催
連携 予 定	市民団体等	芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク実行委員会
	行政機関	高槻市教育委員会
	学校関係	高槻市立小中学校
活動予定月（日）	2月	3月
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市
活動場所	高槻市立小中学校及びその周辺	芥川流域（芥川大橋～次郎四郎橋）
参加対象者	高槻市立小中学校の児童及び生徒	地域の小学校3～6年生、地域の中学校高校の自然科学クラブなど（保護者の参加も可能）
定員	対象学年全クラス	15名
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
2月	小学校での防災教室	淀川芥川クリーンアップ大作戦実行委員会へ参加
3月		淀川芥川クリーンアップ大作戦
スタッフ（人数・役割）	協力スタッフ 若干名（参加者の安全確認、活動のサポート）	協力スタッフ 5名程度（参加者の安全確認、活動のサポート）
広報・募集方法	高槻市立小中学校との打合せによる	レンジャーHPや広報、地域行事などでの告知
支援要望事項	防災教室資材、資料印刷など	スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷、保険加入など
水害体験施設の要望		
安全対策	歩行移動時における安全啓発	歩行移動時における安全指導（川へは入らない）
実施に向けて困っている事・課題		
その他		

氏名	竹本 克巳	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	高槻出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

子どもの遊び方が多様化し、水辺で遊びふれあう機会が減少しています。水辺への関心、遊びなどを通して「川の防災教育」をすすめる。
 また、近年の自然災害、特に降雨災害は各地で増加している一方、住民の意識は低く、被害が多発している現状があり「防災」への関心を高めていくことが求められている。
 そのために、子どもたちには、身近な河川での自然体験学習や淀川の歴史を学び関心を高めます。また、高齢者など地域住民には、身近な河川である淀川の歴史を紐解きながら地域防災や河川への理解を深めて行くことなどを目指します。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	川での自然体験学習など川とふれあう場を提供しながら、地域住民の川への関心を高め、川の防災活動に繋げる。 地域を流れる淀川の歴史、文化などを学び河川事務所の取組む河川整備の状況を発信しながら地域住民への防災意識を高める。	三島江野草地区周辺での環境啓発活動の継続 ・歴史探訪（4月）、野鳥探索（1～2月）	⇒	⇒	⇒	⇒	
		川に関わる防災学習会、河川管理施設等見学会 ・地域自治会等の要請に応じた講演・学習会・見学会等への協力（年間数回）		⇒	⇒	⇒	
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域自治体や活動団体などと協議・連携を行い、相互協力体制の構築を目指す。	三島江野草地区での地域の自然保護団体等との協働（1か月に1回程度） （主催活動ではなく、調査・保全として位置づけ草刈り・樹木の剪定など定期的実施）	⇒	⇒	⇒	⇒	
		三島江野草地区の維持管理 ・草刈りと樹木の剪定・水質調査等（10月） ・淀川・芥川クリーンアップ大作戦（3月）	⇒	⇒	⇒	⇒	
		防災リーダー育成、地域と連携した防災体験学習会 ・自治体・自治体と連携して地域特性をふまえた防災学習や防災訓練の企画・運営			⇒	⇒	
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	三島江地区などを拠点に活動する環境保全団体の創出を目指す。 地域住民等と連携して、河川整備（防災、環境など）に関する意見交換を行い、行政へ発信することを目指す。	三島江野草地区の自然保護を継続する体制づくりと参加者の拡大	⇒	⇒	⇒		
		「川の防災」や「河川整備」についてのワークショップ開催				⇒	

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	「防災学習」 ・淀川の歴史を伝承するにあたり、情報収集と方法を探る。 ・屋外での体験学習をすすめるための、場所等の選定についての検討。 ・協力、支援者等との連携手法 「ワークショップ」 ・課題と場所の検討 ・地域の対象者の選定について、地域団体等と協議
課題に対する取り組み	「川と安全にふれあう場所等の選定」 ・三島江河川公園で継続して取り組める場所や課題を公園管理センターの協力を得ながら検討していく。 ・野草地区や唐崎地区のワンド保全にも自然保護団体等と調査・連携した活動を進める。 「地域との連携」 ・地域の公民館や自治会等と連携しながら、川に関わる防災学習・環境学習に地域の青少年や子育て世代の多くの参加が得られるように取り組む。

出張所	高槻	高槻	高槻	高槻
氏名	竹本 克巳	竹本 克巳	竹本 克巳	竹本 克巳
No.	1	2	3	4
活動名	春の淀川・桜の玉川を歩く（淀川フィールドワーク）	防災体験学習会～地域の水害について考えてみよう	防災体験学習会～地域の水害について考えてみよう	環境学習～自然とのふれあい（三島江公園）野鳥探索
主たる活動分野	E歴史・文化	A治水・防災	A治水・防災	B環境保全
活動目的 （1000字程度）	地域を流れる淀川や地域の川とのつながりを深め、淀川の歴史、文化などを学び共有する。 川とふれあう場をつくり、自然を体験しながら河川への理解を深める。	地域防災会や公民館等と連携し、水害（水難）時における安全対策やハザードマップ等について、地域団体の要望を取り入れた企画を行い体験しながら防災意識を高める。	地域防災会や公民館等と連携し、水害（水難）時における安全対策やハザードマップ等について、地域団体の要望を取り入れた企画を行い体験しながら防災意識を高める。	野鳥観察を通じて川とふれあう場をつくり、自然を体験しながら河川への理解を深める。
活動内容 （1000字程度）	淀川の歴史、文化、自然環境、地域の状況などの紹介や、地域の施設の見学など行う。 堤防の改修やワンドなどの河川敷の整備の必要性、自然環境保全、水辺の安全について現地を歩きながら体験する。	淀川の歴史、文化、自然環境、地域の状況などの紹介やマイタイムライン、防災マップ作成を通じて防災（水難）学習をする。	淀川の歴史、文化、自然環境、地域の状況などの紹介やマイタイムライン、防災マップ作成を通じて防災（水難）学習をする。	三島江河川公園野草地区に訪れる野鳥と冬の野草地区を探索する。
運営形態	共催	共催	共催	共催
連携 予 定	市民団体等	地域の公民館（共催）	地域の自治会等（共催）	高槻市三箇牧公民館との共催
	行政機関	高槻出張所 高槻市	高槻出張所 高槻市	高槻出張所 高槻市
	学校関係			
活動予定月（日）	4月2日（予備日4日）	6月頃（時期未定、主催者と調整）	6月頃（時期未定、主催者と調整）	1月下旬から2月初旬
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市	高槻市	
活動場所	淀川沿いの地域 淀川三島江堤防及び河川敷切り下げ区域（野草区域）周辺など （雨天の場合、延期）	淀川沿いの地域（高槻市内）	高槻市の山間部の地域（高槻市内）	三島江河川公園及び野草地区
参加対象者	淀川沿いの地域及び市内住民等	淀川沿いの地域住民、自主防災組織等	地域住民、自主防災組織等	淀川沿いの地域及び市内住民等
定員	20人	40人	40人	20人
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	実施	関係各所との打合せ、下見及び日程調整	関係各所との打合せ、下見及び日程調整
	5月	活動のまとめ	会場借用申込、	会場借用申込、
	6月	関係各所へ報告	広報、チラシの作成、チラシの作成	広報、チラシの作成、チラシの作成
	7月		実施	実施
	8月		活動のまとめ	活動のまとめ
	9月		関係各所へ報告	関係各所へ報告
	10月			
	11月			関係各所との打合せ
	12月			地域団体等との調整
	1月			
2月			実施・活動のまとめ	
3月			関係各所へ報告	
スタッフ（人数・役割）		他のレンジャーとの協力、補助	他のレンジャーとの協力、補助	レンジャーとの協力、補助（未定）
広報・募集方法	地域、団体への呼びかけ 市の広報掲載依頼 チラシ等の作成	地域、団体への呼びかけ 市の広報掲載依頼 チラシ等の作成	地域、団体への呼びかけ 市の広報掲載依頼 チラシ等の作成	地域、団体への呼びかけ チラシ等の作成
支援要望事項	高槻出張所へ河川敷、堤防整備などの情報提供を依頼	高槻出張所へ河川敷、堤防整備などの情報提供を依頼	高槻出張所へ河川敷、堤防整備などの情報提供を依頼	河川事務所及び高槻出張所へ情報・資料提供を依頼
水害体験施設の要望				
安全対策	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えたい実施する。	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えたい実施する。	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えたい実施する。	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えたい実施する。
実施に向けて困っている事・課題				
その他				

出張所	高槻	
氏名	竹本 克巳	
No.	5	
活動名	川の施設等の見学会	
主たる活動分野	A治水・防災	
活動目的 (100字程度)	施設見学を行い地域を流れる淀川とのつながりを深め、地域住民と連携しながら防災意識を高めるとともに歴史、文化などを学び共有する。 川とふれあう場をつくり、自然を体験しながら防災と河川への理解を深める。	
活動内容 (100字程度)	淀川に関連施設等を見学することにより、防災意識を高める。	
運営形態	共催	
連携 予 定	市民団体等	地区防災会との共催
	行政機関	高槻出張所 高槻市
	学校関係	
活動予定月(日)	令和8年3月中旬	
活動場所(市町村)	不明	
活動場所	場所等については地区防災会と協議し決定	
参加対象者	淀川沿いの地域及び市内住民等	
定員	30人	
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	関係各所との打合せ
	12月	地域団体等との調整
	1月	チラシ作成、参加者公募、下見
2月		
3月	実施	
スタッフ(人数・役割)		
広報・募集方法	地域、団体への呼びかけ チラシ等の作成	
支援要望事項	河川事務所及び高槻出張所へ情報・資料提供を依頼	
水害体験施設の要望		
安全対策	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えたくえ実施する。	
実施に向けて困っている事・課題		
その他		

氏名	奥山 佳一	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	高槻出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

淀川は大阪で最も大きな河川であり、昔から生活や文化など地域住民に多くの影響を与える存在であった。ところが、高度成長期頃の水質汚染や河川改修などにより、身近だった淀川は人々を遠ざけるような河川になってしまった。その後、多くの河川と同様に淀川も水質が改善され、護岸も整備されことにより、河川敷では多くの生物を観察できる場になった。しかしながら、「川の水が汚い」というイメージは残ってしまい、気軽に水辺に入って魚を捕ったり、生物を観察するという行為は減ってしまった。当時の河川に対するイメージを持ったまま大人になった人の河川に対する悪い意識は、残ったままである。その意識は子ども達にも影響し、水辺で遊ぶ文化は無くなってしまっている。その一方、世界中で環境に対する意識は高まり、身近な河川の環境を改善していこうという考えは広まっている。今、河川の水は以前よりもずっときれいになった。魚など多くの生物が戻って来た。こうした身近に見られる変化を子どもから大人まで肌で感じてもらい、これからさらにどんな環境作りが必要か考えてもらうきっかけを与えていける場を作っていくことを目標とする。

1.2 活動の目標 目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載 ⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	水生生物の捕獲活動や観察を通じて、身近な河川の環境状況を知ってもらう。さらに、生物の説明や観察地の現状を考慮することによって自分たちの出来ることを考えてもらう。	河川に入っの捕獲活動と生息していた生物の観察。	⇒	⇒			
		河川近隣の小中学校で「北摂の川の生物と環境」について講座					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

2. 課題

	内容
活動をしていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学生でも入水可能な実施場所の選定。 参加者募集案内の方法。 小中学校との連携方法。
課題に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 現地見 先輩レンジャーへのヒアリング 市役所等広報掲載の可能な場所への連絡

出張所	高槻	
氏名	奥山佳一	
No.	1	
活動名	淀川流域に生息している生物を知ろう	
主たる活動分野	B環境保全	
活動目的 (100字程度)	日常生活している近くの川に生息している生物を知ってもらう。そして、観察した生物のことを知ることで、その場所がどんな環境であるかを考えてもらい自然環境について関心をもってもらおう。	
活動内容 (100字程度)	参加者が実際に河川に入り、河川のどんな場所に魚類や他の生物が生息しているか知ってもらい、捕獲した生物達の特徴やどんな環境で生息しているのか説明後に調査した河川の環境状況を考えてもらう。	
運営形態	主催	
連携 予定	市民団体等	
	行政機関	
	学校関係	
活動予定月(日)	9月～10月頃	
活動場所(市町村)	高槻市 または茨木市、摂津市	
活動場所	芥川 芥川大橋から次郎四郎橋までの間(堤運動広場横付近)	
参加対象者	一般募集(小学生は家族同伴)	
定員	20名程度	
年間 スケ ジ ユ ー ル	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	現地見後に本番実施(9月下旬予定)
	10月	本番中止の場合の予備日(10月上旬予定)
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	
スタッフ(人数・役割)	未定	
広報・募集方法	各市の広報	
支援要望事項		
水害体験施設の要望		
安全対策	未定	
実施に向けて困っている事・課題		
その他		

氏名	小林 勝男	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	高槻出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

災害発生時の危険性を理解してもらうことにより、淀川に係る防災意識の啓発を目的とする。

1.2 活動の目標 目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載 ⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	近年、計画を越える洪水や観測史上最大となる降雨が多発し大型河川の氾濫が発生しているのに「淀川は大丈夫!」と楽観視している市民が少なくない。そうではない、淀川も氾濫の恐れがあることを認識し危機感を持ってもらうことを目標とする。	「大塚切れ」や他府県における大型河川の氾濫の状況についてのレクチャー。河川の氾濫、洪水に伴うリスクを「浸水歩行訓練」で体験し、「マイタイムラインづくり」で避難上のリスクを洗い出し安全な避難計画を策定して頂く。	⇒	⇒	⇒		
Step 2							
Step 3							

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	令和7年度において、地元小中学校の年次カリキュラムに防災イベントを盛り込むに当たって、学校側の理解と協力が得られるか。
課題に対する取り組み	令和7年2月中にアポイントをとり早急に取り組みを進めたい。

出張所	高槻	高槻
氏名	小林勝男	小林勝男
No.	1	2
活動名	地域連携で淀川の安全を考えよう	地域連携で淀川の安全を考えよう
主たる活動分野	A治水・防災	A治水・防災
活動目的 (100字程度)	災害発生時の危険性を理解してもらうことにより、防災意識の啓発を目的とする。	災害発生時の危険性を理解してもらうことにより、防災意識の啓発を目的とする。
活動内容 (100字程度)	「浸水歩行訓練」や「マイタイムラインづくり」で避難上のリスクを洗い出し、そのような状況になるまでに避難することを促す。	「浸水歩行訓練」や「マイタイムラインづくり」で避難上のリスクを洗い出し、そのような状況になるまでに避難することを促す。
運営形態	共催	共催
連携 予 定	市民団体等	
	行政機関	
	学校関係	高槻市立三箇牧小学校
活動予定月(日)	10月	11月
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市
活動場所	高槻市立三箇牧小学校のグラウンド	高槻市立柱本小学校のグラウンド
参加対象者	高槻市立三箇牧小学校の児童	高槻市立柱本小学校の児童
定員		
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	
	5月	下見
	6月	物品手配
	7月	実施
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	
スタッフ(人数・役割)	実技訓練の安全管理、指導応援(人数は4名)	実技訓練の安全管理、指導応援(人数は4名)
広報・募集方法		
支援要望事項	浸水歩行訓練資機材等の借用	浸水歩行訓練資機材等の借用
水害体験施設の要望	浸水地歩行体験キット(フリー)	浸水地歩行体験キット(フリー)
安全対策	下見を行い、使用物品についても入念にチェックをする。また、当日は安全管理担当者を配置すると共に、高槻市消防本部からAEDを借用する。	下見を行い、使用物品についても入念にチェックをする。また、当日は安全管理担当者を配置すると共に、高槻市消防本部からAEDを借用する。
実施に向けて困っている事・課題		
その他	実施時期は相手側の要望をふまえて決定させていただきます。	実施時期は相手側の要望をふまえて決定させていただきます。

連携活動

出張所		福島	高槻	高槻
氏名		桑村和男	杉本真一	杉本真一
連携レンジャー	1氏名・役割	桑村和男：全体責任	杉本真一：総括、計画作成、関係各所との連絡調整、ブース展示と自然観察会を主催（ブース展示の企画・運営、ヨシ工作企画・運営）、広報、物品申請・運搬、摂津市との調整、学生団体への参画呼びかけと調整、活動報告とりまとめ	杉本真一：総括、自然観察会の企画・運営、広報、摂津市との調整、学生団体への参画呼びかけと調整
	2氏名・役割	兒玉曜子：広報担当、チラシ配布、当日司会	伊藤 茂：鳥飼ワンド保全（モニタリング、外来種の侵入監視）、維持管理活動（芽かき、草刈り、ゴミ拾い）の主催、舟運に向けた調整、毛馬出張所との調整、物品申請・運搬	伊藤 茂：鳥飼ワンド保全・維持管理活動の主催、舟運に向けた調整、毛馬出張所との調整
	3氏名・役割	白川公彦：備品担当、運搬、会場設営	指導員制度の適用を希望（指導期間6月～1月） 主たる指導員には引き続き、川づくりの手法（行政と地域との意見調整、ワンドの構造的な課題検討）、維持管理やモニタリングの進め方についての指導を希望する。 4月に工事後の鳥飼ワンドの下見を行い、年間の活動内容を具体化し、アドバイザー（指導員）による指導が必要な内容を整理して、事務局へ相談する。	
	4氏名・役割			
	5氏名・役割			
	6氏名・役割			
	7氏名・役割			
	8氏名・役割			
No.	1	2	3	
活動名	西淀川区淀川右岸クリーン大作戦	鳥飼ワンド探検ツアー (流域治水グリーンインフラ・川づくりプロジェクトin鳥飼地区 第11回)	鳥飼ワンド探検ツアー 第2弾（仮称） (流域治水グリーンインフラ・川づくりプロジェクトin鳥飼地区 第12回)	
主たる活動分野	D維持管理	B環境保全	B環境保全	
連携理由欄	福島出張所管内（西淀川区）で、これまで継続してきた河川美化・河川利用のマネーアップの活動を引き継ぐため。また、管内の他の河川レンジャーが連携を通して活動ノウハウを習得し、他の地域へ活動を拡大できるようにするため。	鳥飼ワンドの川づくり活動は、流域治水・グリーンインフラの取り組みとして、流域のあらゆる関係者と連携して活動を進めることから、分野毎に、複数名のレンジャーとの連携が不可欠であると考え。	鳥飼ワンドの川づくり活動は、流域治水・グリーンインフラの取り組みとして、流域のあらゆる関係者と連携して活動を進めることから、分野毎に、複数名のレンジャーとの連携が不可欠であると考え。	
活動目的 (100字程度)	恒例の淀川一斉美化作戦での、西淀川区で実施している活動になる	鳥飼ワンドは活動から得た知見を基に改良工事を実施中。船着場や防災ステーションからも近ことから①ワンドの保全②舟運の活性化③摂津市と連携した「川づくりの」の推進を流域治水としてあらゆる関係者と推進する。	鳥飼ワンドは活動から得た知見を基に改良工事を実施中。船着場や防災ステーションからも近ことから①ワンドの保全②舟運の活性化③摂津市と連携した「川づくりの」の推進を流域治水としてあらゆる関係者と推進する。	
活動内容 (100字程度)	西淀川区 淀川右岸の清掃活動を近隣の地域住民の人に参加してもらって実施している。川ゴミの問題について、参加者に理解してもらう	改良されたワンドを保全するため、モニタリング調査や再樹林化を防ぐための芽かきを実施し、持続可能な維持管理体制づくりに取り組む。また、地域住民等に川に関心を持っていただけるよう、地域イベントに参加する。	改良されたワンドの保全活動として、水生生物や特定外来種有無のモニタリング調査や再樹林化を防ぐための芽かきを実施し、持続可能な体制づくりを推進する。また住民に向けた「ワンドの生き物観察会」等を開催する	
運営形態	主催	主催	主催	
連携予定	市民団体等	建設技術研究所、関西大学学生団体（TEP）など	建設技術研究所、関西大学学生団体（TEP）など	
行政機関	西淀川区役所、西淀川区生涯学習推進区民会議（共催）	摂津市(まちづくり推進室、環境政策課)	摂津市	
学校関係		地元小中学校	地元小中学校	
活動予定月(日)	3月	6月1日	10～11月	
活動場所(市町村)	大阪市西淀川区	摂津市	摂津市	
活動場所	JR神戸線橋梁－河川敷－淀川大橋（下流に移動）	鳥飼ワンド	鳥飼ワンド	
参加対象者	一般の人	市民、市民団体、学生団体など	市民、市民団体、学生団体など	
定員	HIT	20名	20名	
年間スケジュール	4月		広報、現地下見、実施計画書の作成・提出、関係機関との調整、打合せ	
	5月		展示物等の準備、物品手配、関係各所への協力依頼	
	6月		活動実施（第14回淀川わいわいガヤガヤ祭（10:00-15:00）と同日開催）、活動結果まとめ、ふりかえり	
	7月		次回の活動に向けての打合せ、実施計画書作成・提出準備	定期的なモニタリングの実施を検討
	8月			
	9月			関係機関との調整、現地下見、打合せ
	10月	西淀川区役所・西淀川区生涯学習推進区民会議と打ち合わせ日程調整		事前準備（現地下見）
	11月	西淀川区役所・西淀川区生涯学習推進区民会議と打ち合わせ		活動実施
	12月	チラシ作成		
	1月	広報、チラシ配布		
2月	河川敷使用者に協力要請、広報対応、チラシ配布			
3月	活動実施、活動報告			
スタッフ（人数・役割）	レンジャー・川づくりパートナーで10人以上 受付・ゴミ袋他配布・安全監視・回収ゴミとりまとめ	毛馬・高槻管内河川レンジャー（参加者アテンド、運営サポート等）、かわづくりパートナー	毛馬・高槻管内河川レンジャー（参加者アテンド、運営サポート等）、かわづくりパートナー	
広報・募集方法	チラシ（小学校、町内会配布）、西淀川区広報誌掲載	関係機関や摂津市広報誌、淀川河川公園広報紙「よしぶえ」、レンジャーHPでの告知	関係機関や摂津市広報誌、レンジャーHPでの告知	
支援要望事項	レンジャー事務局→チラシ印刷、ゴミ袋・軍手、垂幕、拡声器、救急セット、ピブス 福島出張所→河川敷当日使用自粛要請、回収ゴミ処理	水生生物調査、自然観察会の講師依頼（河川レンジャー生物顧問 河合典彦氏）、ワンド保全活動用資材、車止めの鍵	水生生物調査講師依頼（河川レンジャー生物顧問 河合典彦氏）、ワンド保全活動用資材、駆除した外来種の処理	
水害体験施設の要望				
安全対策	開始時に注意事項のパンフ配布して、説明する ①河岸に近づかない ②軍手をして、火ばさみでゴミの回収をする ③危険物（医療器具、動物の死体等）に触らない 実際のゴミ回収して移動中は、スタッフが安全監視を行う	自然観察、ワンドの安全指導（監視）	ワンドの安全指導（監視）	
実施に向けて困っている事・課題	参加者募集・協力スタッフの確保	摂津市との連携体制の構築、住民を巻き込んだ活動の推進。わいわいガヤガヤ祭実行委員会への参画（依頼中） ※ワンド回収工事中のため実施可能か検討する	摂津市との連携体制の構築、住民を巻き込んだ活動の推進	
その他		摂津市鳥飼地区では現在、河川防災ステーション整備に向け準備が進められています。また、鳥飼地区のまちづくりについて住民を巻き込んだワークショップが開催されていることから、水辺エリアの利活用や防災拠点として注目を受けています。 今後、改良工事が予定されている鳥飼ワンドの現状や河川環境について広く住民に知ってもらうため、地域住民の方とのつながりを築き、除去活動を継続、ワンドの再生へつなげていきたいと考えています。		

連携活動

出張所		高槻	高槻	高槻
氏名		杉本真一	竹本 克巳	竹本 克巳
連携レンジャー	1氏名・役割	高槻・毛馬の河川レンジャーが連携して取り組む予定。連携メンバー等については、今後調整する。	竹本 克巳：各機関との調整や現地調査、当日の受付及び整理	竹本克巳R：企画、資料収集・作成、現地下見、公民館との調整、報告書作成
	2氏名・役割		酒井信行RA：野草地区の紹介、まとめ	酒井信行RA：受付及び河川公園の案内
	3氏名・役割			
	4氏名・役割			
	5氏名・役割			
	6氏名・役割			
	7氏名・役割			
	8氏名・役割			
No.		4	5	6
活動名		鳥飼ワンドクリーン作戦（仮称） （流域治水グリーンインフラ・川づくりプロジェクトin鳥飼地区 第13回）	自然とのふれあい（三島江野草地区）	淀川・芥川クリーンアップ大作戦
主たる活動分野		D維持管理	D維持管理	D維持管理
連携理由欄		鳥飼ワンドの川づくり活動は、流域治水・グリーンインフラの取り組みとして、流域のあらゆる関係者と連携して活動を進めることから、分野毎に、複数名のレンジャーとの連携が不可欠であるとする。	以前からの野草地区の取り組み等を継続して公園の内容を熟知されているので協力して活動するため	公園周辺の清掃活動を円滑に行うため
活動目的 （100字程度）		地域とのつながりをつくり、ワンドの保全活動に地域の企業や学校が主体となって取り組む体制をつくるため。	地域を流れる淀川や地域の川とのつながりを深め、淀川の歴史、文化などを学び共有する。川とふれあう場をつくり、自然を体験しながら河川への理解を深める。	淀川水系一斉美化アクション 一斉清掃を行い、水辺環境の保全とマナーの向上に繋げる 環境美化、水辺環境保全、ゴミを捨てないマナーアップに取り組み、淀川水系をみんなの手で美しく守って行く。
活動内容 （100字程度）		ワンド周辺のゴミ拾いを摂津市・周辺企業や学校と連携して実施を予定。	淀川の自然環境、地域の状況などを紹介する。 堤防の改修やワンドなどの河川敷の整備の必要性、自然環境保全、水辺の安全について現地を歩きながら体験する。	河川敷公園及び周辺のゴミ拾い
運営形態		主催	共催	共催
連携予定	市民団体等		地域の自治会員及び地元住民	
	行政機関		高槻出張所 高槻市	高槻出張所 大阪府、高槻市
	学校関係			
活動予定月（日）		1~3月	10月中旬	令和8年3月上旬
活動場所(市町村)		摂津市	高槻市	高槻市
活動場所		淀川河川公園鳥飼地区、鳥飼ワンド	淀川沿いの地域 淀川三島江堤防及び河川敷切り下げ区域（野草区域）周辺など（雨天の場合、延期）	三島江河川公園
参加対象者		地域住民、企業、市民団体、学生など	淀川沿いの地域及び市内住民等	淀川沿いの地域及び市内住民等
定員		未定	20人	30人
年間スケジュール	4月			
	5月	活動計画の立案、開催概要案の作成		
	6月	摂津市等へ参加・協力の依頼		
	7月			
	8月	開催概要をとりまとめ事務局へ連絡		
	9月		関係各所との打合せ、下見	
	10月	美化アクション連絡調整会議出席予定、広報準備（原稿作成等）	実施	
	11月	支援物品数量の連絡	活動のまとめ	
	12月	レンジャーニュース・特設HP公開予定	関係各所へ報告	高槻市の実行委員会に参加
	1月			チラシ作成、参加者公募、下見
2月			参加者公募	
3月			実施	
スタッフ（人数・役割）		毛馬・高槻管内河川レンジャー（運営サポート等）、かわづくりパートナー	レンジャーとの協力、補助（未定）	
広報・募集方法		関係機関や摂津市広報誌、レンジャーHPでの告知	地域、団体への呼びかけ チラシ等の作成	地域、団体への呼びかけ チラシ等の作成
支援要望事項		清掃活動、ワンド保全活動用資材	高槻出張所へ河川敷、堤防整備などの情報提供を依頼	高槻出張所へ火ばさみ等の用具借用
水害体験施設の要望				
安全対策		清掃場所の安全監視、活動場所の明示、事前下見による危険箇所の確認	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えよう実施する。	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えよう実施する。
実施に向けて困っている事・課題		摂津市との連携体制の構築、住民や企業をまき込んだ活動の推進		
その他				